

臨時記者会見（9月）次第

令和2年9月17日（木）

午後4時30分～

市長公室広報広聴係

<出席者>

酒田市／市長

総務部長、企画部長、健康福祉部長、子ども・家庭支援調整監、
建設部長、財政課長、情報企画課長、子育て支援課長、健康課長、
建築課長

酒田記者クラブ／各社

幹事社／山形新聞、荘内日報（9月・10月）

1 開 会

(1) 発表事項

- ・デジタル変革（DX）の推進に向けてCDO（最高デジタル責任者）を設置
します
- ・新型コロナウイルス関連の支援について

(2) その他

2 閉 会

◆その他配布資料

令和2年9月17日

酒田記者クラブ加盟社 各位

デジタル変革（DX）の推進に向けて CDO（Chief Digitaltransformation Officer）の設置等を行います

本市においてデジタル変革を推進するため、CDOを設置するなど次の事項を行います。

◆ポイント

- CDOを設置します。自治体におけるCDOの設置は、山形県内では初、東北では福島県耶麻郡磐梯町に次いで2番目となります。（東北の市では初）
- 本市とNTTデータ、NTT東日本及び東北公益文科大学は、デジタル変革による市民サービスや市民生活の向上、地域課題の解決等を目的に、連携協定を締結します。
- 企画部情報企画課内に「デジタル変革戦略室」を設置します。

1. CDO（Chief Digitaltransformation Officer）

- (1) 就任予定日 令和2年10月1日（木）
- (2) 就任予定者

本間 洋（ほんま よう）氏



株式会社NTTデータ 代表取締役社長

1956年 山形県酒田市生まれ。

1980年 東北大学経済学部卒業、同年4月 日本電信電話公社入社。

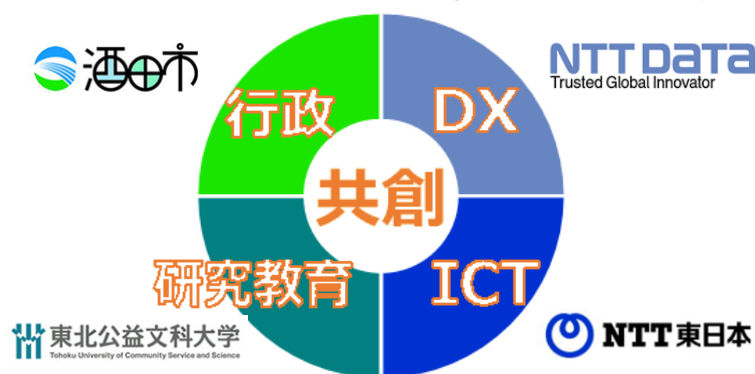
2015年 法人・ソリューション分野担当役員、2016年に代表取締役副社長執行役員就任。2018年6月より現職。

◆詳細は、別紙「略歴書」をご覧ください。

- (3) CDOの役割 本市における中長期的なデジタル変革に対して先導的な提言を主体とします。

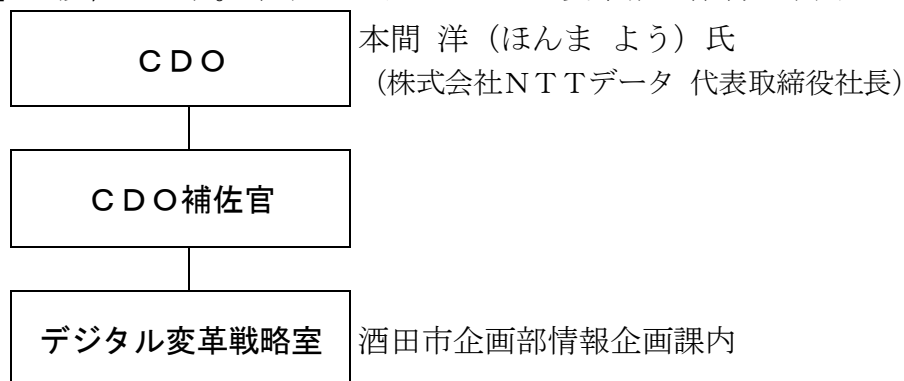
2. 連携協定の締結

- (1) 締結年月日 令和2年10月1日(木) 予定
- (2) 締結者 酒田市
株式会社NTTデータ
東日本電信電話株式会社
東北公益文科大学
- (3) 協定内容(案) デジタル変革による ①市民サービス及び市民生活の向上
②地域課題の解決
③大学まちづくり
④行政の効率化
⑤デジタル人材の育成 など



3. デジタル変革戦略室の設置

令和2年10月1日(木)、酒田市企画部情報企画課内に「デジタル変革戦略室」を設置します。本市におけるデジタル変革推進体制は下図のとおりです。



お問い合わせ先



企画部情報企画課 TEL 0234-26-5721 Fax 0234-26-5791
E-mail dx@city.sakata.lg.jp



広報部 TEL 050-5546-8051



山形支店 広報担当 TEL 023-621-9521 Fax 023-642-6424
E-mail: yama-kouhou@east.ntt.co.jp



地域共創センター TEL 0234-41-1115 Fax 0234-31-2082
E-mail kyoso@koeki-u.ac.jp

略 歴 書

株式会社 NTT データ

代表取締役社長 本 間 洋 (ほんま よう)

【略 歴】

1956年 山形県酒田市生まれ。

1980年 東北大学経済学部卒業、同年4月 日本電信電話公社入社。

金融分野での企画・開発・スタッフを経て、2001年にカードビジネス事業部長、

2007年より広報部長、秘書室長を兼任。2010年流通・サービス事業本部長、

2014年取締役常務執行役員エンタープライズIT サービスカンパニー長、

2015年法人・ソリューション分野担当役員、2016年に代表取締役副社長執行役員就任。

強み・価値にこだわった経営を推進し、法人・ソリューション分野のビジネス拡大に

大きく貢献。2017年からは日本・アジアリージョン担当を務め、2018年6月より現職。

【主な著書・監修】

「緑のトマト」 (日経BP社)

季節性インフルエンザ予防接種の助成について

1. 助成する目的

今冬、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時に流行することによる医療提供体制への影響が懸念されている。

季節性インフルエンザ予防接種費用を助成することにより、インフルエンザの罹患者(発熱患者)の減少を図り、医療機関の混乱等の軽減に寄与することを目的とするもの。

2. 事業の概要

(1) 助成対象及び想定人数

- ①生後6か月～高校3年生まで 13,580人
- ②妊婦 約250人
- ③19歳～60歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害がある方で、身体障害者手帳1級に相当する方 136人

(2) 接種回数

生後6か月～13歳未満までは2回、13歳以上は1回

(3) 助成額

1回1,700円 ※生活保護世帯の方は無料

(4) 助成期間

10月15日(木)～12月28日(月)

(5) 周知方法

市広報及びホームページ、医療機関などへのポスター掲示などにより周知する。

3. 想定している事業費

約26,700千円

10月15日より助成を開始することから、10月1日号広報にてお知らせする。

なお、助成に伴う財源については、高齢者インフルエンザ予防接種に対する助成と合わせて、地方創生臨時交付金を活用する。

4. その他

今シーズンのインフルエンザワクチンの供給量の見込みは、昨年度比で約7%増加している。これは、統計が残っている平成8年以降、過去最大の使用量だった昨シーズンと比較して約12%増加している。(令和2年8月現在)

新型コロナの影響を踏まえた住宅建設等の支援実施について

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ住宅産業に対し県と市が協調し支援する。

1. 住宅を新築する方への支援 【新規予算対応】

○酒田産木材使用住宅を新築する場合、1戸あたり100万円を補助

■要件（1）～（4）を満たす住宅新築工事

（1）AまたはBの酒田産木材使用工事

A 酒田産木材多用型 : 0.1m³/m²以上かつ15m²以上使用

B 酒田産木材活用法 : 0.05m³/m²以上使用かつ①～③のいずれかの住宅

① やまがた健康住宅の認証を受けた住宅

② 三世帯同居または近居世帯

③ 県外からの移住世帯

（2）一定の省エネ基準と耐久性基準を満たす住宅

（3）市内施工業者が施工する工事【酒田市追加要件】

（4）工期：事前着工可（9月1日以降）、事前完了可、年度内完成

■補助金の額 1戸あたり100万円（県負担50万円、市負担50万円）

※市負担分に地方創生臨時交付金を充当

■対象戸数 20戸

■募集開始時期 未定（県及び市予算成立後 10月中旬予定）

2. 住宅をリフォームする方への支援 【既設予算対応】

○新・生活様式に対応したリフォーム工事費の1/2（上限20万円）を補助

■要件（1）～（2）を満たす住宅リフォーム工事

（1）新・生活様式に対応した①～③のリフォーム工事

①住宅にウイルスを持ち込まない工事

例：宅配ボックス、タッチレス玄関ドア、玄関脇手洗い器の設置

②住宅内の感染拡大を防止する工事

例：通風式玄関ドア、全熱交換型換気扇、ステイルーム（室内に手洗いやトイレを設置）工事

③テレワーク（リモート授業）に対応する工事

例：テレワークの防音工事、ワークスペース設置

（2）市内施工業者が施工する工事【酒田市追加要件】

■補助金の額 対象工事費の1/2で上限20万円（県負担10万円、市負担10万円）

※予算は既決リフォーム補助金で対応（市負担分に地方創生臨時交付金を充当）

■対象件数 30件程度を予定（過去に住宅リフォーム総合支援事業を実施した方も可）

■募集開始時期 未定（県予算成立後 10月中旬予定）

令和 2 年 9 月 17 日
健康福祉部子育て支援課

(仮) 酒田市新生児子育て特別応援給付金について

- 1 目的 政府の特別定額給付金の対象外とされた新生児に対して応援金を給付し、社会の宝である赤ちゃんの誕生を祝福し子育て世帯を応援する。
- 2 内容 対象となる新生児 1 人につき 10 万円を対象世帯に給付
- 3 対象 ・令和 2 年 4 月 28 日から令和 3 年 4 月 1 日までに生まれ、出生により酒田市民として住民登録された新生児
※市外からの転入により住民登録された新生児は対象外。
- 4 手続き 対象者に申請書類を交付し、提出された申請書等により支給要件の確認を行い申請の口座へ支給する。(予定)
- 5 事業費 給付金等約 50,000 千円 (想定人数 500 人×10 万円、事務費)